

●赤穂市の下水道のあゆみ

昭和49年	8月	下水道事業都市計画決定	平成3年	4月	磯浜中継ポンプ場完成	
	12月	下水道事業認可	平成5年	9月	周世地区供用開始(農集)	
昭和50年	12月	公共下水道事業着手	平成7年	5月	有年原地区供用開始(農集)	
昭和53年	12月	赤穂市公共下水道運営協議会設置	平成9年	1月	原新田地区供用開始(農集)	
昭和54年	12月	赤穂市下水道条例制定	平成9年	9月	福浦処理区供用開始	
	昭和56年	3月		加里屋中継ポンプ場完成	平成10年	3月
		8月	下水管理センター完成	平成10年	4月	下水道使用料改定 有年牟礼地区供用開始(農集)
9月	下水道供用開始(加里屋中洲、中広地区)	平成11年	4月		東有年地区供用開始(農集)	
昭和58年	1月	浜田中継ポンプ場完成	平成12年	3月	はりま台処理区供用開始	
昭和59年	7月	西沖ポンプ場(雨水)完成	平成12年	4月	西有年第1地区供用開始(農集)	
	9月	塩屋中継ポンプ場完成		西有年第2地区供用開始(農集)		
昭和60年	11月	尾崎中継ポンプ場完成 千種川水管橋完成	平成13年	3月	古池処理区供用開始 大泊処理区供用開始	
昭和61年	10月	下水道使用料の改定 御崎中継ポンプ場完成	平成13年	4月	有年橋原地区供用開始(農集)	
昭和62年	4月	南野中継ポンプ場完成		平成14年	12月	小島処理区供用開始
昭和63年	12月	鷗和ポンプ場完成	平成18年	4月	下水道使用料改定	
			平成22年	1月	下水道使用料改定	

(農集)＝農業集落排水事業

9月1日は 赤穂市の下水道 供用開始30周年

赤穂市の下水道は、昭和56年9月1日供用開始以来、本年9月で30周年を迎えることになりました。

供用開始初年度の下水道普及率は14・9%でしたが、平成23年3月末の農業集落排水事業等を含めた普及率は99・3%に達しています。
この普及率は、全国85・7%、兵庫県98・1%(平成21年度末)を上回っていますが、より一層の推進を図って参りますので、ご協力をお願いいたします。

市制60周年・下水道30周年記念事業
「下水道まつり」開催

日時

9月23日(金・祝) 午前9時
30分～正午(雨天決行)

場所 下水管理センター
主な内容

- ▽水酸化促進月間応募作品展
- ▽下水道30周年の写真パネル展
- ▽赤穂市の下水道「ビデオ」展
- ▽赤穂市下水道「ビデオ」上映会
- ▽施設見学会(参加自由)
- ▽模擬店 など

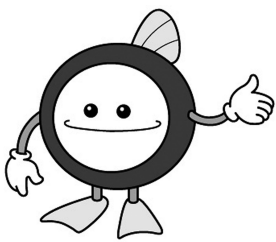
9月は水酸化促進月間

9月10日は「下水道の日」です。「下水道生きものすべて」のいのちのわ(平成22年度国土交通大臣賞受賞標語)をスローガンに、全国的な下水道推進活動が展開されています。

赤穂市においても、9月を「水酸化促進月間」と定め、下水道に関する作品を募集し、下水道の整備と水酸化の促進について啓発活動を実施しています。

優秀作品展

- ① 9月13日(火)～22日(木)、市役所1階エントランスホール
- ② 9月23日(金・祝)～30日(金)、下水管理センター
- ③ 10月13日(木)～24日(月)、プラット赤穂2階通路ギャラリー(映画館横)で展示予定です。



台所の「流し」から生ごみや油を流さないでください



台所の「流し」から野菜くずや残飯などの生ごみや、油を流すと、下水道から悪臭が発生する原因になります。また、固形物である生ごみや、流された油は、下水管内部で固まり、こびり付いてしまうことがあります。詰まる原因になるので、絶対に流さないでください。油は必ず固形にするか紙や布などにしみこませ、十分に冷えてから、燃やすごみに出しましょう。

下水道に関する相談・問い合わせ

▽上下水道部 総務課
☎43・6832
(下水道使用料・受益者負担金に関すること等)

▽上下水道部 下水道課(下水管理センター)
☎45・2263
(下水道工事・排水設備工事・合併処理浄化槽の補助金に関すること等)